



SAKAMOTOSANGYO
THE CIVIL ENGINEERING AND CONSTRUCTION INDUSTRY

COMPANY PROFILE

坂本産業株式会社

経営理念

Management philosophy

人間尊重 Humanity

従業員が快適で意欲をもって働けるような環境を作り出す。

革新志向 Innovation

役員、従業員全員が常に革新的姿勢で業務にあたり、事業展開、営業活動、研究・開発業務、経営革新に取り組むことにより、絶えず企業として成長・発展を図っていく。

顧客第一 Market-in

常に顧客の立場に立って考え行動し、顧客に役立つことにより当社も適正な利潤を頂くことを基本とする。

情熱 Zeal

何事にも情熱をもって取り組む。

誇り Pride

従業員一人一人が、誇りを持って現場を完成させる。

《代表者挨拶》

坂本産業株式会社は、創業以来、地域のみなさまよりご愛顧を賜り、歴史を築くことができました。当社では土木工事業に於ける長年の知識と経験を活かし、さらなる技術力アップを図るとともに地域に貢献できるよう取り組んで参りますので、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



坂本産業株式会社の決意

子どもたちは、純粋な目を持っています。それは、一番厳しい目でもあります。そのまなざしを裏切らない仕事をしていきたい。また、子どもたちがやがて大きくなった時さらにその子どもたちの子どもたちの時代、すなわち「未来」への財産となるものを残していきたい。それが私たちの「しごと」であり、それをすることが私たちの存在意義だと考えます。

「子どもの目」を裏切らない。これは、簡単なようで難しいことです。

たとえば、日常生活の中で常に公衆マナーを守る、自分のことばかりでなく社会に対して貢献する、誰もが頭ではわかっていても行動に移せないことがしばしばあります。そうした自分を振り返り、やはりどんな時でも、子どもの純粋な目に耐えられるような行動をとっていかねばならないのだと思います。

仕事でいえば、きちんとしたプロセスで、きちんとしたマネジメントの下で、社会人として建設のプロとして誇れる行動を積み重ねていく、そういった姿勢を従業員ひとりひとりが持つことが、企業の存在意義を高めることにつながるのだと考えています。

坂本産業株式会社は、プロ意識と誇りを持ち、次世代未来の子どもたちに誇れる仕事をしていく事を宣言致します。

主要工事

Major construction



重機土工事・造成工事・整地工事・他

- 大型重機土工事
- 基盤造成工事
- 造成工事
- 宅地仕上り工事
- 土砂流出防止工事
- 重機土工事
- 機械整形仕上げ工事
- 盛土工事
- 土留工事
- 整地工事

重機土工事・造成工事・整地工事に関するすべての工事



開発工事・観賞用池工事・調整池工事・他

- 開発工事
- 調整池工事
- 植生工事
- 植栽工事
- 観賞用庭園工事
- ゴルフ場開発工事
- 自然石積み工事
- 観賞用池工事
- サイディング工事
- 観賞用石敷設工事

開発工事・調整池工事・他すべての土工事

掘削工事・掘削土運搬工事・他

- 重機掘削工事
- 掘削積込工事
- 表土扱い工事
- 廃棄物混入土分別工事
- 岩掘削工事
- 掘削土運搬工事
- 地盤改良工事
- 廃棄物混入土掘削工事
- 廃棄物混入土運搬
- 法面掘削工事

掘削工事・掘削土運搬工事・土工事に関するすべての工事



道路改良工事・水路工事・下水道工事・他

- 道路改良工事
- 下水道工事
- 集水枳工事
- 路体盛土工事
- 防護柵工事
- 水路工事
- 擁壁工事
- カルバート工事
- 歩車道境界ブロック工事
- 舗装工事

道路改良工事・水路工事・下水道工事・他すべての工事

主要工事

Major construction



建築工事・外構工事・型枠工事

- | | |
|------------|----------|
| ■ 建築基礎掘削工事 | ■ 型枠工事 |
| ■ 基礎工事 | ■ 鉄筋組立工事 |
| ■ 外構工事 | ■ 植栽工事 |
| ■ 舗装工事 | ■ 基礎掘削工事 |
| ■ 足場組立工事 | ■ 排水工事 |

建築外構工事・他すべての工事



河川工事・築堤盛土工事・築堤護岸工事

- | | |
|-------------|----------|
| ■ 河川工事 | ■ 護床工事 |
| ■ 築堤盛土工事 | ■ 水門本体工事 |
| ■ 築堤護岸工事 | ■ 覆土工事 |
| ■ 石積み・石張り工事 | ■ 張芝工事 |
| ■ 堆積土除去工事 | ■ 籠マット工事 |

河川工事・築堤盛土・護岸工事・他に関わるすべての工事



ダム建設工事・砂防工事・重機土工

- | | |
|-----------|-------------|
| ■ ダム建設工事 | ■ 山腹水路工事 |
| ■ 重機土工 | ■ 法面工事 |
| ■ 法枠工事 | ■ 堰堤工事 |
| ■ 掘削土運搬工事 | ■ 擁壁工事 |
| ■ 砂防工事 | ■ 軟岩・硬岩掘削工事 |

ダム砂防工事・重機土工・他すべての工事



橋梁下部工事・河川工事

- | | |
|----------|----------|
| ■ 橋梁下部工事 | ■ 樋管工事 |
| ■ 場所打杭工事 | ■ 根固め工事 |
| ■ 河床整正工事 | ■ 翼壁工事 |
| ■ 捨石工事 | ■ 法面整形工事 |
| ■ 躯体工事 | ■ 地覆工事 |

橋梁下部工事・河川工事に関するすべての工事



近年、原油価格の高騰や地球温暖化問題に対する関心の高まり等を背景として、木・竹質バイオマス燃料とする熱利用機器の導入事例も増加し、取扱企業、種類、用途なども多様化が進んでいる事かと思えます。

今後は、利便性や燃焼効率の向上、低コスト化といった、木・竹質バイオマスの普及促進につながる技術改良が求められて来る事と感じ取っております。

坂本産業株式会社では、木・竹質資源の利用拡大の基盤づくりとして、又化石燃料の代替燃料材として木・竹質チップを燃料材としての研究を行っていきたいと考えております。

バイオマスに含まれる炭素分は、植物が成長する過程で大気中のCO₂を固定したものであり植物の育成や栽培が維持されるという前提において、バイオマスを燃焼しても大気中のCO₂は増加しない。(このサイクルは「カーボンニュートラル」と呼ばれています)

実際、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減目標を定めた京都議定書の枠組みではバイオマスの燃焼により発生するCO₂は排出量にカウントしないとされております。

このため、例えばバイオマスによる燃料を石油等の化石燃料の代替燃料として利用することで、代替された化石燃料分だけCO₂の排出量を削減することができます。

石油や石炭等の化石資源は、使い続けることでいずれは枯渇が予想される有限の資源であるのに対し、バイオマスは生命と太陽エネルギーがある限り、持続的に再生可能な資源です。このことは、限りある化石資源を次世代でも引き続き活用できるようにするとともに、化石資源への依存を低減する観点からも非常に重要な事だと思えます。



エネルギーは、経済活動の重要な基盤の一つですが、日本は、国産エネルギー比率が6%程度という、極端なエネルギー小国です。エネルギーの安定供給の確保と合理的な価格の形成は日本経済発展の基本的な第一歩だと思います。同時に、温暖化防止のための適切な対策が求められています。「3つのE(エネルギー安全保障、経済効率性、及び環境保全)」は、日本だけではなく、成長するアジアの国々を含め世界共通の課題であり、相互依存性を深めた国際社会では、日本やアジアの動向が、世界に大きな影響を及ぼすのではないかと、私たちは考えます。

木質バイオマスエネルギーの利活用による環境保全への貢献

私たちの暮らしや、産業活動に必要なエネルギーの多くは化石燃料によって支えられています。しかし、それによって、CO2の排出による「地球温暖化問題」や大量消費起因する

「エネルギーの枯渇問題」を引き起こしています。一方で、栃木県には、多くの森林資源が存在し、そして、その森林を利用した多くの産業活動が行われていますが、多くの木質バイオマスが、未利用のまま残されています。

地域に賦存する木質バイオマスをエネルギーとして利用することは、これらの問題を解決する方策となるとともに、地域での新しい産業や雇用を生み出す、可能性を持った事業の一つだと、坂本産業株式会社は考えます。

カーボンニュートラルである木質バイオマスをエネルギーとして、利用を進めることにより化石燃料の使用を抑制し、CO2の排出を抑えることによって、環境保全への貢献に取り組んで行きたいと坂本産業株式会社は考えます。

環境エネルギー事業・特許開発事業

Environmental energy business



山林伐採工事・立木伐採工事

- | | |
|-----------|---------------|
| ■ 山林伐採工事 | ■ 立木伐採工事 |
| ■ 伐木集積工事 | ■ 伐木運搬処理 |
| ■ 倒木除去工事 | ■ 倒木伐採工事 |
| ■ 伐木玉切り工事 | ■ 間伐工事 |
| ■ 山林開発工事 | ■ 森林エネルギー開発事業 |

山林・森林の開発及び伐採に関するすべての工事

立木除根工事・木根小割工事・草刈り工事

- | | |
|---------------|---------------|
| ■ 立木除根工事 | ■ 木根小割作業 |
| ■ 木根運搬処分 | ■ 整地工事 |
| ■ 除草工事 | ■ 草刈り工事（肩掛け式） |
| ■ 草刈り工事（バロネス） | ■ 集草・後片付け |
| ■ 除草シート敷設工事 | ■ 除草剤散布工事 |

立木除根工事・木根小割作業・除草工事・他すべての工事



竹林伐採工事・竹林開発工事

- | | |
|----------|---------------|
| ■ 竹林伐採工事 | ■ 竹集積作業 |
| ■ 竹運搬処理 | ■ 竹リサイクル事業 |
| ■ 竹林開発工事 | ■ 竹林エネルギー開発事業 |

竹林の伐採工事・竹林開発工事・他すべての工事

竹の小割作業

- | | |
|----------|------------|
| ■ 竹の小割作業 | ■ 竹除根作業 |
| ■ 竹駆除工事 | ■ 竹駆除剤散布工事 |
| ■ 竹林整地工事 | ■ 竹林表土除去工事 |

竹林の伐採工事・竹の駆除工事・他すべての工事

環境エネルギー事業・特許開発事業

Environmental energy business



大型チップパー・竹・伐木のチップ破碎

- 大型チップパー導入
- 竹・伐木をチップ破碎
- チップ材をバイオマス燃料として再利用
- 竹・木質のチップ材を肥料の原料として再利用
- 竹・木質チップ材をリサイクル材としての研究開発



大型木材破碎機

- 木材破碎機導入
- 木・根を破碎
- 木・根の破碎物をバイオマス燃料として再利用
- 木・根の破碎物を紙の原料として再利用
- 木・根の破碎物を肥料の原料として再利用
- 木・根の破碎物をリサイクル材としての研究開発



大型土のう製造機 特許第5390722号

- 大型土のう製造機
- 1人でも、大型土のうが製作可能
- 安全で迅速に作業が出来ます
- 軸が回転するので、左右どちら側でも製作可能



重機盗難防止装置 特許5508579号

- 重機の盗難を防止します
- 回転軸をロックすることで旋回出来ません
- 縦ピン・横ピンを壊されても、ロックピンは抜けません
- 重機をトレーラーに積み込んだとしても、運搬が出来ません
- 各メーカーの機械に取り付けが可能です

車のプロ

坂本産業・車両部

オリジナルパーツの販売やレストアを手掛け、
車両に新たな命を吹き込みます。



オリジナルパーツ

軽さ・強さ・美しさ。 カーボンオリジナルパーツ

寸法精度、表面品質、耐久性——
すべてに妥協なく仕上げた造形は、
性能部品でありながら、
視覚的な完成度も追求。
走行性能と佇まい、その両方を高める
本物志向のオリジナルパーツです。



レストア



名車再生 — オリジナルを未来へ—

レストアとは、単に古いものを直すことではありません。
素材や構造を丁寧に見極め、本来の美しさと機能を必要以上に手を加えず甦らせる。
過去の魅力を守りながら、これから先も長く使い続けられる存在へ——
それが、私たちの考えるレストアです。



展示会

自社開発パーツ車両展示 — 展示会への取組 —

当社では、自社オリジナルパーツを使用した車両を展示会に出展しております。
デザイン性や機能性にこだわったカスタマイズを、実車を通してご覧いただけます。
当社ならではの技術やこだわりを、ぜひ会場でご体感ください。



展示車両



S30Z



ロータス・エリーゼ



ハコスカGT



レストアとは

レストアとは、経年によって失われた性能や外観を復元し、車の本来の姿と魅力を取り戻す技術です。熟練の技とこだわりで、一台一台に新たな命を吹き込む作業を意味します。

STEP1

再生への第一眼

レストアはまず、車両の状態を徹底的に診断することから始まります。長年の使用や経年劣化によって生じた傷や錆、見えないダメージをひとつひとつ確認し、修復が必要な箇所とその方法を決定します。この段階でしっかりと計画を立てることで、後の作業を効率的に進めつつ、車両本来の価値を最大限に引き出すことができます。



STEP2



分解して甦る準備

次に、車両を細部まで分解し、部品ごとに清掃と錆取りを行います。長年の汚れや油汚れを取り除くことで、部品の状態をリセットし、修復作業に最適な環境を整えます。また、この段階で部品の破損や摩耗も確認し、必要に応じて交換部品の選定を行います。丁寧な下準備が、後の美しい仕上がりの決め手となります。

STEP3

修復で命を吹き込む

分解・清掃が完了したら、車両の各部品を修復して再生します。傷んだ部分は修理し、破損が大きい場合はオリジナルパーツで補強します。単なる修理にとどまらず、車両の個性や歴史を尊重しながら、見た目も機能も蘇らせます。エンジンや足回り、ボディの微細な部分まで精密な調整を行い、性能面と安全性を確保しつつ、美しい仕上がりを追求します。



STEP4

組み上げて名車復活

修復が完了した部品を組み上げ、塗装や内装、エンジン調整など最終仕上げを行います。こうして、かつての輝きを失った車両が、新たな命を吹き込まれたかのように美しく蘇ります。車両オーナーの想いや歴史を守りつつ、未来へ受け継ぐための大切な作業です。



坂本産業株式会社

〒328-0203
栃木県栃木市尻内町691-1

TEL : 0282-31-0526
FAX : 0282-31-0525

E-mail : s-sangyo@sakamoto-sg.co.jp
WEBSITE : <https://sakamoto-sg.co.jp/>



こちらから
WEBサイトを
ご覧になれます